

(注)「コモロ連合月報」は、新聞報道等をまとめたものであり、当館として事実関係を確認したものではありません。記事中にコモロ政府の公式見解と異なる内容が含まれる場合もあるため、予めご留意願います。なお、各記事冒頭の日付は、報道された日付となっています。

コモロ連合月報（2025年7月）

《要点》

【外政】

●16日 コモロ各紙によれば、14日、フランス大使館は国際日レセプションを開催し、コモロにおけるフランスの支援が2億6,000万ユーロにのぼっていると表明。他方ムバエ外務・国際協力大臣は、マイヨット島は1975年11月12日の国連総会の決議に従い、コモロの領土である旨協調した。

●18日 Al Watwan 紙によれば、17日、アザリ大統領は、オマーンの支援により建設された沿岸警備隊の新本部社屋の竣工式に出席。同大統領は、同式典において、沿岸警備隊のパートナーであるオマーン、日本、中国、フランス、国連開発計画（UNDP）に対し、財政・技術的支援の感謝を述べた。

●25日 Al Watwan 紙によれば、12日から23日にかけて、中国文化観光行政中央アカデミーがアフリカ仏語圏に対し、「文化遺産保護と伝承」をテーマにしたセミナーを開催した。コモロだけではなく、ベナン、ガボン、マリからも文化局等で文化事業に従事する関係者が4～5名参加した。

【経済】

●21日 La Gazette 紙によれば、10日、閣議終了後、コモロ政府は石油製品の供給政策の変更を発表。コモロ石油公社（SCH）のオリークス・エナジーズ（スイス系企業）との契約終了を正式に発表するとともに、今後はアラブ首長国連邦の石油大手企業アブダビ国立石油会社（ADNOC）と契約を結ぶことを発表した。

1 内政

8日 コモロ各紙によれば、6日、モロニのマルジニ（Malouzini）スタジアムにおいて独立記念50周年記念式典が開催され、タンザニア、エチオピア、モーリシャスからそれぞれ大統領が式典に出席した（<https://alwatwan.net/societe/une-c%C3%A9l%C3%A9bration-sous-le-signe-de-l%E2%80%99unit%C3%A9-et-de-l%E2%80%99ouverture-au-monde.html>）。

31日 Al Watwan 紙によれば、30日、大統領令第25-080/Pr号により、ジャエ・アハマダ・チャンフィ（Djaé Ahamada Chanfi）司法・イスラム問題・公務元大臣がアザリ大統領の外交顧問に任命された（<https://alwatwan.net/politique/beit-salam-i-djae-ahamada-chanfi-de-nouveau-conseiller-diplomatique.html>）。

31日 Al Watwan 紙によれば、大統領令第25-078/Pr号により、ソイリヒ・モハメド・ジュナイド（Mahamoud Salim Hafi）元コモロ国立電力公社（Sonelec）総裁がマハムー

ド・サリム・ハフィ（Mahamoud Salim Hafi）氏の後任として政府事務次長（secrétaire général adjoint du gouvernement）に任命された（<https://alwatwan.net/politique/haute-administration-i-soilihi-mohamed-djounaid-succ%C3%A8de-%C3%A0-mahamoud-salim-hafi.html>）。

2 外政

1日 Al Watwan紙によれば、グランドコモロ島のクワンバニ・ヤ・ワシイ（Kwambani ya Washili）市は、姉妹都市提携を結ぶフランスのラ・クールヌヴ（La Courneuve）市のジル・プー（Gilles Poux）市長の訪問を歓迎。同市長は、同市が支援する複数の建設現場を視察した。なお、これまでに同市は、市内の雨水貯水槽の改修、病院の太陽光発電化、歯科用椅子2台、医療用家具（デスク、テーブル、キャビネットなど）供与、クワンバニ市職員のフランスでの研修、学校用具・機材の整備、小学校への財政支援、大型トラック供与、女性起業家支援のための電気機器の供与などの多くの支援を行っている（<https://alwatwan.net/societe/coop%C3%A9ration-d%C3%A9centralis%C3%A9e-i-kwambani-rend-hommage-%C3%A0-gilles-poux-maire-de-la-courneuve.html>）。

2日 La Gazetta紙によれば、6月30日から7月2日まで25人の若者がリーダーシップ研修に参加した。同研修は、欧州連合（EU）が資金提供し、欧州選挙支援センター（ECES）が実施する「SHAWIRI」プロジェクトの一環で実施された（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/25-jeunes-comoriens-form%C3%A9s-au-leadership-.html>）。

4日 Al Watwan紙によれば、2日及び3日、グランドコモロ島ミツミヒリ（Mitsamihuli）において、ジェンダーに基づく暴力（GBV）の事例管理者の能力強化を目的とした研修を2日間実施した。同研修は、EUが支援する「Nawa Himiliwa」プロジェクトの一環として実施された（<https://alwatwan.net/societe/mitsamihuli-des-acteurs-form%C3%A9s-pour-mieux-lutter-contre-les-violences-bas%C3%A9es-sur-le-genre.html>）。

8日 La Gazetta紙によれば、6日、モロニにおいて、バカール国民教育・科学研究・研修・職業統合大臣及びマクロン大統領の名代でコモロを訪問しているジェレミー・ロベール（Jérémie Robert）仏大統領府アフリカ顧問は、フランス開発庁（AFD）が修繕を行っている公立小学校2校の工事現場を訪問した（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/coop%C3%A9ration-france-comores-j%C3%A9r%C3%A9mie-robert-visite-deux-chantiers-%C3%A0-moroni-.html>）。

9日 La Gazetta紙によれば、7日、モロニにおいて、海洋汚染対策のための市民参加型海洋調査キャンペーンが開始された。同取り組みは、インド洋委員会（COI）加盟国間の協力強化を目指す「ExPLOI (Expédition Plastique Océan Indien)」プロジェクトの一環で実施された。なお、同キャンペーンは、AFDとフランス世界環境基金（FFEM）からの支援により実施された（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/lutte-contre->

[la-pollution-plastique-une-mobilisation-r%C3%A9gionale-port%C3%A9-par-l%E2%80%99engagement-comorien-.html](#))。

9日 La Gazette紙によれば、環境保護及び地域観光開発へのコミットメントの一環で、世界銀行は、グランドコモロ島のマル（mal）ビーチ清掃キャンペーンを開始した（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/environnement-la-banque-mondiale-offre-un-nettoyage-de-la-plage-de-mal%C3%A9-pour-l%E2%80%99ind%C3%A9pendance-.html>）。

10日 Al Watwan紙によれば、5日、モロニにおいて、ジェンダーに基づく暴力防止を目的とした教育用パンフレットの検証ワークショップが開催された。同イベントは、EUの支援を受け、欧州選挙支援センター（ECES）が主導するコンソーシアムが実施した。また、フランス赤十字社、教育と機会均等を推進する市民団体（Maeecha）、アースエコ・コミュニケーション（EarthEcho Communication）も同ワークショップに参加した（<https://alwatwan.net/societe/violences-bas%C3%A9es-sur-le-genre-validation-d%E2%80%99une-brochure-p%C3%A9dagogique.html>）。

11日 Al Watwan紙によれば、ムスタドロイン・アブドゥ（Moustadroine Abdou）国民議会議長は、独立50周年記念式典終了後、同式典に招待されていたエル・マリック・ンダイエ（El Malick N'diaye）セネガル国民議会議長と会談し、両国の関係強化を確認（<https://alwatwan.net/politique/comores-s%C3%A9n%C3%A9gal/cinquantenaire-i-des-%C3%A9changes-entre-el-malick-n%E2%80%99diaye-et-moustadroine-abdou.html>）。

11日 Al Watwan紙によれば、10日、フランス大使館及び国連児童基金（UNICEF）は、アンジュアン、グランドコモロ、モヘリの合計16の若手記者クラブに対し、コンピューター機器及びオーディオ機材を供与した（<https://alwatwan.net/societe/jeunes-reporters-des-comores-i-plusieurs-lots-de-mat%C3%A9riels-remis-%C3%A0-16-clubs-repartis-dans-les-%C3%A9les.html>）。

14日 Al Watwan紙によれば、11日、フランス大使館は、第1回ワリヤ賞の授賞式を開催した。選出された監督7人がフランスの国立映像・音響芸術高等専門学校（Fémis）で研修を受講し、俳優14人がレユニオンの演劇学校で指導を受ける（<https://alwatwan.net/culture/remise-des-prix-du-concours-waliya-i-le-prix-du-jury-est-all%C3%A9-%C3%A0-sa%C3%A9d-hodari-de-la-s%C3%A9ri%C3%A9-viral.html>）。

14日 Al Watwan紙によれば、9日、ローラン・コビア（Roland Kobia）EU大使は、EUとコモロの貿易関係に加え、両地域・国間のグリーン・アンド・ブルー・協定、グローバル・ゲートウェイ・イニシアチブ、漁業協定を記者団に説明した。また、フランスとEUのコモロに対する支援の合計額は約3億5,000万ユーロに上るとのこと（<https://alwatwan.net/societe/coop%C3%A9ration-comores-ue-i-l%E2%80%99ambassadeur-de-l%E2%80%99union-europ%C3%A9enne-annonce-%C2%ABun-financement-pour-l%E2%80%99extension-du-port-de-moroni%C2%BB.html>）。

14日 Al Watwan紙によれば、9日までの6日間、モロニのイマム・シャフィウン大学において、履歴書、カバーレターの作成および就職面接の準備に関する研修が卒業を控えた学生に対し実施された。同研修は、EUが支援する「Msomo na Hazi」プログラムの一環で行われた（<https://alwatwan.net/societe/formation-%C3%A0-l%E2%80%99insertion-professionnelle-i-les-jeunes-outill%C3%A9s-pour-affronter-le-march%C3%A9-du-travail.html>）。

16日 Al Watwan紙によれば、アザリ大統領は、コモロの外交戦略に関する新たな指針を表明。その重点項目にマイヨット問題の対外情報発信の強化を掲げた（<https://alwatwan.net/politique/palais-de-beit-salam-i-une-rencontre-entre-le-chef-de-l%E2%80%99etat-et-les-missions-diplomatiques-comoriennes.html>）。

16日 コモロ各紙によれば、14日、フランス大使館は国際日レセプションを開催し、コモロにおけるフランスの支援が2億6,000万ユーロにのぼっていると表明。他方ムバエ外務・国際協力大臣は、マイヨット島は1975年11月12日の国連総会の決議に従い、コモロの領土である旨協調した（<https://alwatwan.net/societe/f%C3%A0te-nationale-fran%C3%A7aise-i-sylvain-riquier-%C2%ABje-pars-en-vous-aimant%C2%BB.html>）。

18日 Al Watwan紙によれば、15日、モヘリ島の地域観光局において、レストラン、レセプション、調理、観光ガイドなどの研修を受講した観光業界で働く60名の職員に対し、資格証明書授与式が開催された。なお、同研修は、国際フランコフォニー機関（OIF）の支援を受け実施された（<https://alwatwan.net/societe/tourisme-et-h%C3%B4tellerie-%C3%A0-mwali-i-60-personnes-form%C3%A9es-ont-re%C3%A7u-leurs.html>）。

18日 Al Watwan紙によれば、17日、アザリ大統領は、オマーンの支援により建設された沿岸警備隊の新本部社屋の竣工式に出席。同大統領は、同式典において、沿岸警備隊のパートナーであるオマーン、日本、中国、フランス、国連開発計画（UNDP）に対し、財政・技術的支援の感謝を述べた（<https://alwatwan.net/societe/un-nouveau-b%C3%A2timent-au-quartier-g%C3%A9n%C3%A9ral-des-garde-c%C3%B4tes.html>）。

18日 Al Watwan紙によれば、シルヴァン・リキエール仏大使の後任にエティエンヌ・シャポン（Etienne Chapon）南アフリカ総領事が第15代駐コモロ仏大使任命されたとのこと（<https://alwatwan.net/societe/coop%C3%A9ration-i-un-nouvel-ambassadeur-de-france-aux-comores.html>）。

21日 Al Watwan紙によれば、緑の気候基金（GCF）から6,000万ドルの支援を受け、UNDPはコモロ全土23地域に居住する105,000人に対し、飲料水供給プロジェクトを進行中。他方、グランドコモロ島のイツァンドラ（Itsandra）においても同プロジェクトのパイロット段階が進行中ではあるものの、住民全員に水が供給されておらず、住民からは不満の声もあがっているとのこと（<https://alwatwan.net/societe/approvisionnement-en-eau-dans-la-r%C3%A9gion-d%E2%80%99itsandra-i-un-projet-ambitieux-entre-espoirs-et-attentes.html>）。

21日 Al Watwan紙によれば、16日、コモロ商工会議所連合会は、国際貿易センター（ITC）

およびEUの欧州開発基金（FED）の支援を受け、コモロの公的・民間部門対話（PPD）の常設技術事務局（STP）の2025-2027年戦略計画および資源動員戦略の報告・検証ワークショップを開催した（<https://alwatwan.net/societe/dialogue-public-priv%C3%A9-validation-du-plan-strat%C3%A9gique-2025-2027.html>）。

22日 コモロ各紙によれば、18日、モロニの人民宮殿において、広州中医薬大学及び保健・社会保護省が第2回マラリア根絶シンポジウムを開催された。政治家、公衆衛生の専門家、国際パートナーが参加した

（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/deuxi%C3%A8me-symposium-sur-l%E2%80%99%C3%A9limination-du-paludisme-%C2%AB-z%C3%A9ro-palu,-je-m%E2%80%99engage-!-%C2%BB-.html>）。

23日 Al Watwan紙によれば、22日、アザリ大統領は、パトリス・ラトロン（Patrice Latron）レユニオン島知事をベイト・サラーム宮殿で接遇し、レユニオン島に国際海洋機関（COI）のアカデミーを設立する計画などを議論（<https://alwatwan.net/politique/beit-salam-i-le-pr%C3%A9fet-de-la-r%C3%A9union,-patrice-latron,-re%C3%A7u-par-le-chef-de-l%E2%80%99etat.html>）。

25日 Al Watwan紙によれば、19日から21日にかけて、モヘリ島において、民事安全総局は、国連児童基金（UNICEF）の支援を受け、青少年クラブ及びコミュニティリーダーを対象とした自然災害リスク管理に関するスキル強化研修をした

（<https://alwatwan.net/societe/s%C3%A9curit%C3%A9-civile-des-leaders-communautaires-form%C3%A9s-%C3%A0-la-gestion-des-risques.html>）。

25日 Al Watwan紙によれば、12日から23日にかけて、中国文化観光行政中央アカデミーがアフリカ仏語圏に対し、「文化遺産保護と伝承」をテーマにしたセミナーを開催した。コモロだけではなく、ベナン、ガボン、マリからも文化局等で文化事業に従事する関係者が4～5名参加した

（<https://alwatwan.net/culture/civilisation-et-culture-i-une-d%C3%A9l%C3%A9gation-comorienne-form%C3%A9e-%C3%A0-la-protection-du-patrimoine-en-chine.html>）。

25日 La Gazetta紙によれば、エジプトを公式訪問中のモハメド内務・地方分権化・国土行政大臣は、マフムード・タウフィク（Mahmoud Tawfik）内務大臣と会談。エジプトは、重病を患うコモロの警察官の医療費を無償で負担することを快諾したとのこと。また、コモロの治安部隊の訓練支援、技術支援についてもエジプト側から提示されたとのこと

（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/s%C3%A9curit%C3%A9-l%E2%80%99%C3%A9gypte-offre-des-soins-gratuits-aux-policiers-comoriens-17109.html>）。

25日 Al Watwan紙によれば、24日、UNICEFは、拡大予防接種プログラム（PEV）の一環で、バイク24台を供与。内訳は、グランドコモロ島に11台、モヘリ島に4台、アンジュアン島に9台（<https://alwatwan.net/societe/l%E2%80%99unicef-%C3%A9quipe-en-motos-i-le-programme-%C3%A9largi-de-vaccination.html>）。

29日 Al Watwan紙は、24日、アフリカ開発銀行（AfDB）が資金提供し、国連食糧農業機関（FAO）が実施する「セパレフプロジェクト（食料危機への対応能力強化のための多国間プロジェクト）」の成果の一部を報じた。同プロジェクトは、キャッサバの持続可能な種子産業を構築し、農民のレジリエンスを強化することで食料安全保障を向上させることを目的としている。実際に、1ヘクタールの畑で、半年間の作業を経て7トンのキャッサバが収穫されたとのこと（<https://alwatwan.net/societe/agriculture-%C3%A0-mwali,-fay%C3%A7al-bianrifi-pr%C3%A9voit-de-%C2%ABr%C3%A9colter-20-tonnes-de-manioc%C2%BB.html>）。

29日 La Gazette紙によれば、26日、フランス開発庁（AFD）が資金提供し、Expertise Franceが実施する「ディアスポラ」プロジェクトの一環として、ディアスポラ委員会は、会計・財務、人事管理・最適化、マネジメント研修をコモロ国立電力会社（Sonelec）の経営陣に対し3週間実施した（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/transfert-d%E2%80%99expertise-au-profit-des-structures-administratives-.html>）。

30日 Al Watwan紙によれば、グランドコモロ島のンゲングウェ（Nguwengwe）村において、「持続可能な開発支援計画」策定作業の公式キックオフ会議が開催された。同プロジェクトは国際フランコフォニー機関（OIF）及びEUの支援により実施されている（<https://alwatwan.net/societe/d%C3%A9veloppement-local-i-travaux-d%E2%80%99C3%A9laboration-du-plan-communal-de-nguwengwe.html>）。

31日 Al Watwan紙によれば、28日、国立青少年スポーツ研究所（INJS）において、日本大使館はコモロ柔道連盟に対し、柔道着225着を供与（<https://alwatwan.net/societe/l%E2%80%99ambassade-du-japon-vient-en-aide-%C3%A0-la-f%C3%A9d%C3%A9ration-comorienne-de-judo.html>）。

3 経済

1日 Al Watwan紙によれば、6月26日、国家デジタル開発庁（Anaden）は、農業・畜産・漁業の商工会議所とともに、農業、畜産、漁業の分野の近代化を目的とした覚書に署名した（<https://alwatwan.net/societe/appui-et-modernisation-du-secteur-agricole-i-un-partenariat-entre-l%E2%80%99anaden-et-l%E2%80%99union-des-chambres-d%E2%80%99agriculture.html>）。

2日 Al Watwan紙によれば、6月24日、国際通貨基金（IMF）は、拡大信用施設（FEC）プログラムに基づく第4回審査を終了した。5つ定量基準のうち2つが遵守され、2024年11月から2025年5月までに予定されていた11の構造的ベンチマークのうち8つが達成されたことから、IMFは、重要な進展を指摘しつつも、改革の勢いを維持するため、持続的な努力が依然必要であると強調した（[https://alwatwan.net/economie/facilit%C3%A9-%C3%A9largie-de-cr%C3%A9dit-\(fec\)-i-le-fmi-valide-une-nouvelle-tranche-d%E2%80%99aide-de-4,87-millions-de-dollars.html](https://alwatwan.net/economie/facilit%C3%A9-%C3%A9largie-de-cr%C3%A9dit-(fec)-i-le-fmi-valide-une-nouvelle-tranche-d%E2%80%99aide-de-4,87-millions-de-dollars.html)）。

10日 La Gazette紙は、財務・予算・銀行部門省は、SONELEC社、SONED社、及びエル・マールフ（El Maarouf）病院及び同病院近隣病院に対し付与されていた消費税の免除に関する命令の廃止の通達を発表した。これら民間企業は同通達を批判している（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/hausse-des-taxes-douani%C3%A8res-le-patronat-rejette-une-hausse-impos%C3%A9e-et-sans-concertation-.html>）。

15日 コモロ各紙によれば、14日、民間部門からの激しい反発を受け、イブラヒム財務・予算・銀行部門大臣と経営団体は、法人税、配当課税、及び税の前払い計算方法の変更実施を60日間延期する旨共同署名した（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/taxes-douani%C3%A8res-un-compromis-trouv%C3%A9-entre-l%E2%80%99%C3%A9tat-et-le-patronat-.html>）。

21日 La Gazette紙によれば、10日、閣議終了後、コモロ政府は石油製品の供給政策の変更を発表。コモロ石油公社（SCH）のオリークス・エナジーズ（スイス系企業）との契約終了を正式に発表するとともに、今後はアラブ首長国連邦の石油大手企業アブダビ国立石油会社（ADNOC）と契約を結ぶことを発表した（<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/%C3%A9nergie-adnoc-sera-le-nouveau-fournisseur-de-la-sch-.html>）。

25日 Al Watwan紙によれば、24日、海上・航空輸送省が海上航行の安全強化を目的として設置した合同委員会が正式に活動を開始。コモロ港を出港する船舶検査を以下5つの基準に基づき実施する：①船舶証明書の有効性及び同証明書と船舶本体との一致性、②安全設備と消火設備、③機械の状態、④航海に必要な燃料の量、⑤衛生検査（<https://alwatwan.net/societe/s%C3%A9curit%C3%A9-maritime-i-un-contr%C3%B4le%C3%A9-renforc%C3%A9-des-navires.html>）。

4 社会

4日 Al Watwan紙によれば、6月24日、2020年11月新型コロナウイルス感染症のパンデミックを受けて保健省が策定した医療廃棄物管理の国家計画が、医療施設における感染性廃棄物の処理をより適切に規制するため、3度目の改訂が行われた（<https://alwatwan.net/societe/gestion-des-d%C3%A9chets-m%C3%A9dicaux-le-plan-national-valid%C3%A9.html>）。

4日 Al Watwan紙によれば、3日、教育に関する全国会議が閉幕し、アザリ大統領は、同会議で提出された提言を確実に推進するとの強い決意を表明した。なお、閉幕式には、政府関係者、議員、専門家、国際パートナー、外交団らが出席した（<https://alwatwan.net/education/le-pr%C3%A9sident-de-la-r%C3%A9publique-s%E2%80%99engage-%C3%A0-suivre-les-recommandations-des-assises-nationales-sur-l%E2%80%99%C3%A9ducation.html>）。

（了）